

区 のまちづくりを一緒に語ろう

区 の まちづくり ワークショップ

開催の目的

岡山市の将来像やこれからのまちづくりの方向性を示した第六次総合計画が令和7年度に終期を迎えることから、さまざまな世代・立場の市民の皆様から、これからのまちづくりの方向性や必要な視点、アイデア等について意見を聴取することで、次期総合計画をより市民ニーズを踏まえたものにするを目的としています。

開催概要

項目	概要			
開催区	東区	中区	北区	南区
開催日	令和7年 3月8日(土)	令和7年 3月9日(日)	令和7年 3月15日(土)	令和7年 3月16日(日)
開催時間	13:30～16:30			
開催場所	東区役所 3F 多目的ホール大	中区役所 2F 多目的ホールA	岡山市勤労者 福祉センター 4F 大会議室	南区役所 4F 大会議室
対象者の 選定基準	多様な年代・属性の市民			
参加人数	19名	30名	29名	27名
内容	<ul style="list-style-type: none">・岡山市の各区ごとに、多様な年代、属性の市民が区の将来像やこれからのまちづくりの方向性について話し合い、未来の区を考える。・身近な体験をもとに2つのテーマから区の未来を自分事化して話し合う。			

実施方法

ワークショップ方法 グループディスカッション／グループ発表形式

4～5人のグループに分かれる



- ・多様な年代・属性の市民が参加した。
- ・参加者が自分事化できる身近なテーマを設定した。

思いついたことを話し合い、付箋に書きだしていく



- ・個々の意見を自由に付箋に書きだした。
- ・参加者が自由に発言できる雰囲気づくりに努めたことで、多数の意見がでた。

グループ内発表で出た意見をグルーピングし、サブタイトルを付ける
偵察タイムも行う



- ・グループ内で意見発表をし、意見交換を行った。
- ・偵察タイムで、自分以外の考えや意見を知る機会を設けた。
- ・各テーマ毎に全体発表する。

各テーマ毎に全体発表する
テーマ②ではキャッチフレーズを考える



- ・グループ毎の意見とキャッチフレーズを全体に発表する。
- ・意見を整理し発表することで参加者の当事者意識、満足度を高めることができた。

ワークショップのテーマ

- 各区・地域の都市機能・時代潮流・人口、ワークショップの進め方の説明を踏まえ、アイスブレイクをした後に下記②テーマについて話し合いました。
- テーマ①で各区の「お宝」について話し合い、付箋に書いて模造紙に貼り出しました。
- テーマ②で区民にとって各区がこんなまちになってほしいという方向性を見出し、理想のまちを考え、そのための取り組みを付箋に書き出し、全体で共有しました。
- テーマ②では、各区をこんなまちにしたいというキャッチフレーズを考えました。

「区のみちづくりワークショップ」当日の流れ

テーマ①	各区のお宝はなに？
テーマ②	どんなまちで暮らしたい？ 暮らしたいまちにしていくためには？
キャッチ フレーズ	グループ毎にキャッチフレーズを考える

当日のスケジュール

時間	LAP	項目	内容	備考
13:00~13:30	30*00	受付		
13:30~13:31	01*00	開会	メインファシリテーターによる開会	
13:31~13:32	01*00	参加者紹介	各グループのファシリテーター	
13:32~13:47	15*00	オリエンテーション	(1)WS開催の目的・位置づけ説明 (2)岡山市の総合計画、プロフィール、主な取組 (3)今後について（最新の話題）	【PPT】
13:47~14:02	15*00	アイスブレイク ・ 13:52-14:02（10分） グループ内で自己紹介 ・ 14:02-14:07（5分） ゲーム		
14:02~14:45	43*00	「区のお宝はなに？」（これからも大切にしていきたいもの）		
		・ 14:07-14:10（3分） 説明		
		・ 14:10-14:15（5分） 個人意見書き出し	付箋に書き出していく	
		・ 14:15-14:40（25分） グループ内発表・意見交換 とりまとめ	グループ内で順番に発表し、意見交換を行う、偵察タイム 出た意見をグループピングし、サブタイトルをつける	
		・ 14:40-14:50（10分） 各グループの発表	各グループで出た意見を発表する	※1グループ2分×5グループ
14:45~14:55	10*00	休憩		
14:55~16:05	70*00	「どんなまちで暮らしたい？」「暮らしたいまちにしていこうためには？」		
		・ 14:55-14:57（2分） 説明	進め方	
		・ 14:57-15:07（10分） 個人意見書き出し・セット	黄色と緑の付箋に書きだしていく	
		・ 15:07-15:27（20分） 発表・意見交換	※同上	
		・ 15:27-15:30 ～休憩～（3分）		
		・ 15:30-16:50（20分） グループピング・キャッチフレーズ とりまとめ	〃（キャッチフレーズ作成も） 〃	
		・ 15:50-16:05（15分） 各グループの発表	〃（キャッチフレーズ発表も）	※1グループ3分×5グループ
16:05~16:20	15*00	参加者の感想共有	参加した感想をマイクで発言いただく ※1名30秒	※全員から一言ずつ感想発表
16:20~16:25	05*00	総括	区職員様コメント・メインファシリテーターによるまとめ	
16:25~16:30	05*00	参加者アンケート記入		
16:30		閉会		

会場レイアウト

■下記レイアウトを基準として、各回の参加人数や会場に応じて調整しました。

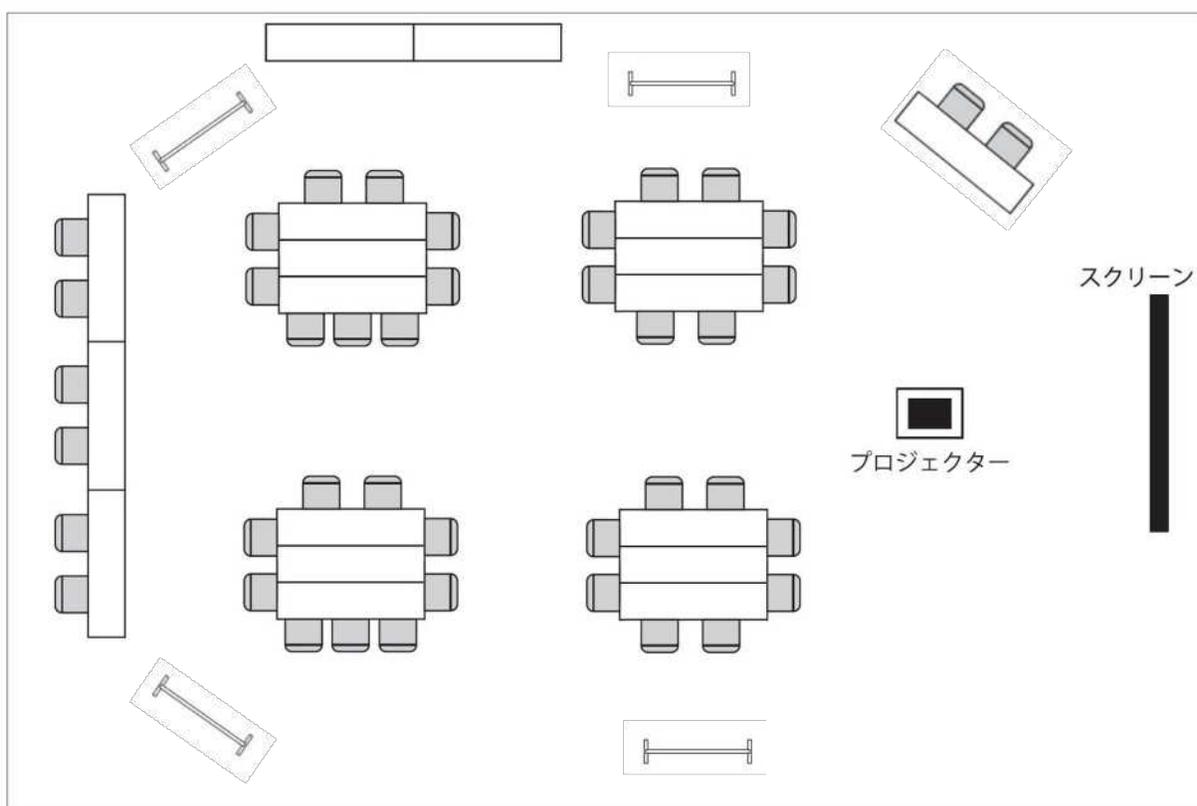
■グループ構成

参加者：1グループ4～5名×5グループ

ファシリテーター：1グループ1名×5グループ

■会場

- 東区役所、中区役所、岡山市勤労者福祉センター、南区役所





<市民の意見>
東区

テーマ①「岡山市東区のお宝ってなに？」

- ・これからも大切にしていきたいもの
- ・とても満足しているもの
- ・東区の良いところ、特徴的なこと

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。（5分間）

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

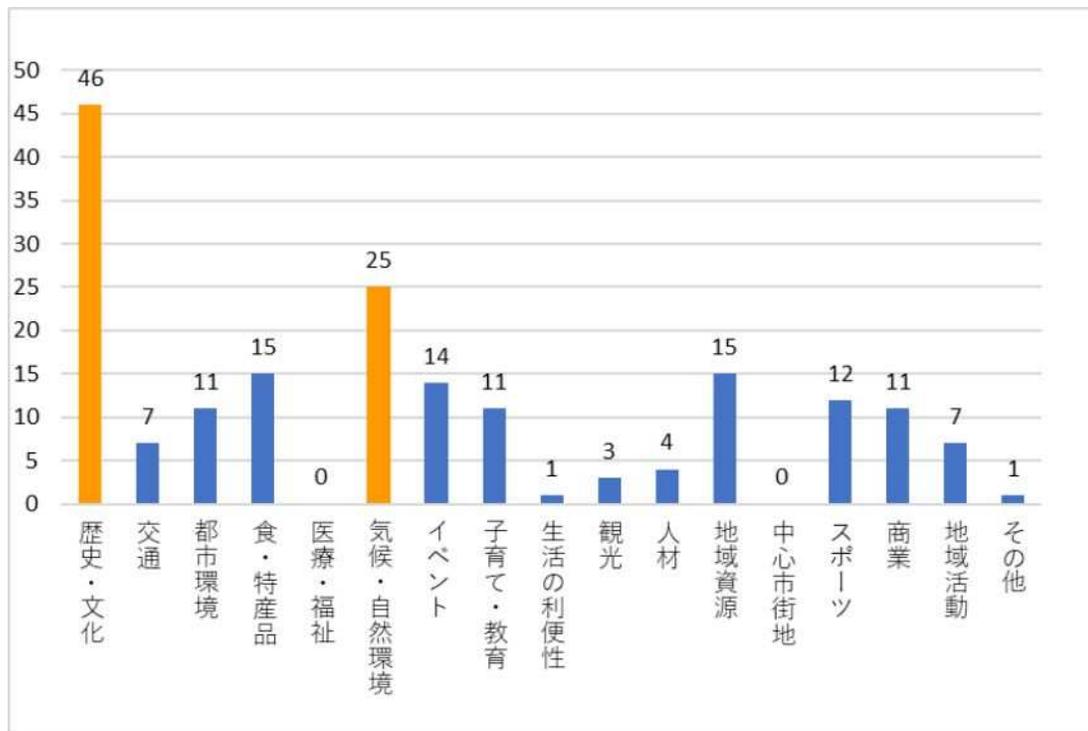
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加、類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる（25分間）

③各グループの発表（10分間）

<結果>

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で183件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】 ①岡山市 東区のお宝

分野別キーワードの要旨

東区のお宝

分類	要旨
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・宇喜多家ゆかりの城（乙子城、砥石城、亀山城など） ・国指定史跡や多くの古墳群（大廻小廻山城跡、宮山西古墳、浦間茶臼山古墳など） ・伝統的な神社仏閣（西大寺観音院、安仁神社、布勢神社など） ・犬島（犬島精錬所跡、採石場（大阪城の石垣に使用）） ・常夜灯（九幡～金岡） ・西大寺観音院（裸祭り、会陽結願祭、節分祭、パワースポット「活力の楠・和合の楠」） ・洋画家や詩人などの文化人（ベル串田、赤城曠児郎、時実新子） ・高瀬舟・北前船の物流（昆布を津山に運ぶなど） ・瀬戸内国際芸術祭 ・経済面での歴史（矢野恒太（三徳園創設者）、伊原木邸・両備、天満屋、三好野発祥の地）
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・東西南北に交通の結節点がある、渋滞が少ない ・道路網が整備されている（山陽自動車道、国道2号線バイパス、ブルーライン、東環状(将来的に)） ・公共交通が充実している（山陽本線、赤穂線、宇野バス、瀬戸IC（将来的に）） ・西大寺いちごサイクル
都市環境	<ul style="list-style-type: none"> ・広い公園などの施設が豊富（小島の森、西大寺緑花公園） ・住みやすく、家族や子どもと一緒に過ごしやすい環境が整っている
食・特産品	<ul style="list-style-type: none"> ・おいしい飲食店がある（ラーメン、おはぎ屋さん、おこわのお店） ・くだものおいしい（いちごジュース、ジェラート・スイーツ） ・こちめし（裸衆が会陽前に食べたという伝統の味） ・幻の酒米「雄町米」の産地、地ビール
医療・福祉	
気候・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかで豊かな自然（田園風景、芥子山、山も海もある） ・水がきれい豊富（吉井川、アユモドキの保護活動） ・美しい景色（星がキレイ、宗堂桜、紅葉がきれい、児島湖からの夕日） ・新産業ゾーンの東部クリーンセンターから見る景色
イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや地域のお祭りがたくさん開催されている（さくらまつり、三谷公園もみじまつり、レストパークふれあいまつり、公民館イベント） ・西大寺地域のイベント（レトロマルシェ、西大寺朝市、会陽あと祭り、花火大会、燦燦会 再来舞） ・夏目漱石フォーラム、防災キャンプ
子育て・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・学芸館高校の活躍（サッカー、吹奏楽など） ・学校が多く、教育環境が充実している（山南学園、高校での農業体験、留学生が多い）
生活の利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・西大寺駅周辺の利便性（さまざまな公共施設がコンパクトにまとまっている）
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・神崎梅園など、観光資源が豊富にある ・地元の魅力を伝えるボランティアガイドの活動(瀬戸地域)
人材	<ul style="list-style-type: none"> ・西大寺出身のアーティスト（angelaの山下 敦子さん） ・お祭り好きな人がたくさんいる、人がやさしい、街が好き人が多い、西大寺を愛し誇りをもっている
地域資源	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな特色ある地域（西大寺、瀬戸、上道、古都、山南） ・環太平洋大学の施設（世界的建築家 安藤忠雄氏による5棟の施設） ・芥子山のボランティアによる整備と中間地点、頂上からの眺め ・犬島（自然の家、天体観測、美術館、市内唯一の有人島） ・西大寺地域（五福通り（映画のロケに使われる）、西大寺文化資料館、西大寺西川の13の橋めぐり） ・釣りの穴場
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツが得意な生徒・学生が多い、公共の運動施設が豊富（健幸プラザ、神崎山公園競技場） ・J1チームファジアーノ岡山のクラブハウス、練習グラウンドがある（政田サッカー場）
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・豊富な飲食店（町おこし飲食店やカフェ、卵かけご飯、パンケーキ、うどん、スイーツ）
地域活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会の活動や公民館が充実している（瀬戸地域には瀬戸・万富の2つの公民館がある） ・小学校、中学校でおこなう防災講習
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模工場がある（キリンビール、日本エクスランなど）

意見が多かった項目

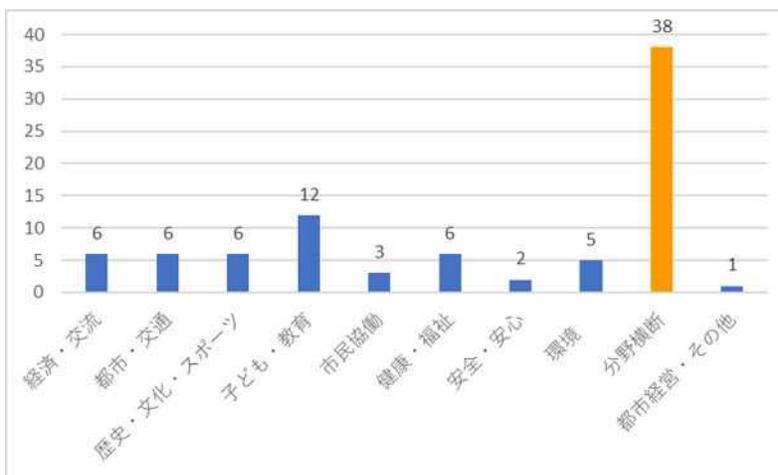
テーマ②「どんなまちで暮らしたいと想いますか？」 そのためには 「暮らしたいまちにするには どんなことが必要だと想いますか？」

<進め方>

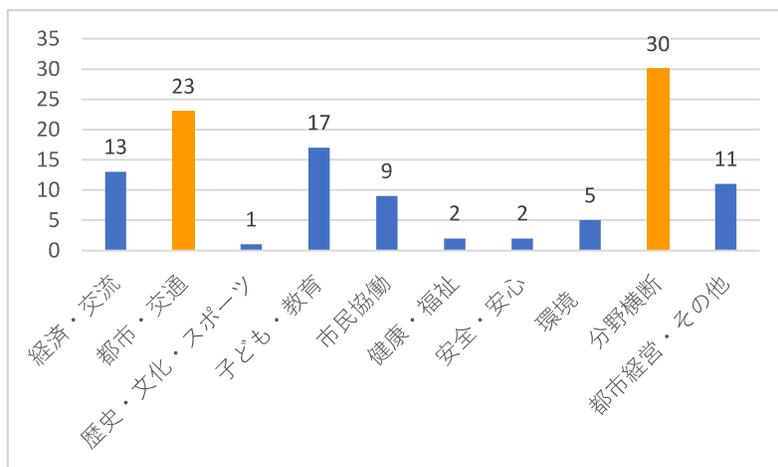
- ①「どんなまちで暮らしたいのか」を黄色の付箋に書き出し、
黄色の付箋に対して「どんな取り組みが必要か」を緑の付箋に書き出す。（10分間）
- ②黄色と緑の付箋紙をセットにして、模造紙に貼りながら一人ずつ発表。
→その後、意見交換・新たな意見も追加（20分間）
- ③類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる
最後に東区をこんなまちにしたい！というキャッチフレーズを作成（20分間）
- ④各グループの発表（15分間）

<結果>

- ワークショップを通じて、出てきたキーワードは理想像総数で85件、必要な取り組み113件となりました。
- 分野別キーワード数
「どんなまちで暮らしたいのか」



「どんな取り組みが必要か」



【市民の意見】 どんなまちだったら暮らしたい？

暮らしたいまちにするために必要なことは？

分野別キーワードの要旨

東区の理想像、必要な取組

中分類	小分類	テーマ②-1 理想像	テーマ②-2 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	・産業が強い地域	・会社を誘致し雇用を増やす ・働く場所や職業を増やす ・高校を卒業して働ける職場を増やす
	中心市街地		・魅力的な商業施設を増やす ・商店街の再生
	食・農業		
	観光・交流	・区外から人が流入してくる、移住したくなるまち ・進学や就職で出ていった人が帰りやすいまち ・全国的に有名な観光地にする	・ツアーを考える ・流入する人への家賃支援など受け入れ体制を整える ・犬島、会陽など魅力ある地域資源をPR
都市・交通	拠点形成・地域振興		
	交通	・車がなくても移動できる 交通便利なまち ・暮らしの移動が便利なまち ・生活しやすいまち（交通機関の確保） 瀬戸 ・サイクリングコースやランニングコースがあるまち	・電車やバスの整備 ・ライドシェアや自動運転の導入 ・デマンドタクシーの推進（瀬戸） ・基幹道路の渋滞緩和や歩道の整備 ・自転車や車いすで回遊できるまちづくり
	都市景観・住環境		・遊歩道の整備 ・マップや看板の整備 ・建築物に植物を取り入れる
歴史・文化、スポーツ	歴史・文化・芸術	・歴史・文化・自然を誇りに思いもっと知りたくなるまち ・多くの文化に触れられるまち	・博物館、西大寺文化資料館の活性化
	スポーツ	・みんなで運動できる町	
子ども・教育	子ども・子育て	・子どもを育てやすいまち ・子どもの声が聞こえるまち ・子どもの笑顔があふれるまち ・子どもの多いまち	・子育て環境が整い、必要なものが充実 ・子どもがのびのびと育つまちづくり ・自然で安全な公園やボール遊びができる公園の整備 ・地域（まち）全体で子どもを育てるまちづくり ・子育てを気軽に相談できるワークショップを実施
	女性・若者	・若い世代が住みやすいまち（瀬戸） ・学生にやさしい地域 ・若者や女性等、多様な人の声が届く町	・起業支援をはじめ若者が活躍しやすい支援の充実 ・ママさんワークステーションなど女性の多様な働き方支援の充実
	教育	・質の高い教育が選べ、勉強、部活、イベント等いろいろな機会がある ・部活動だけでなく学業も発展したまち	・小中高で地域学習や地元の歴史を学ぶ ・自立教育や自由に勉強ができる施設を増やす ・多様な人が学校教育に関わり、子どもの得意を引き出す ・学べる講座の実施（公民館など）
市民協働	協働、国際、人権	・外国人が住みやすく、世界中の言葉があふれるまち ・地元住民と外国の方が共生できるまち（瀬戸）	・自治会の活性化と地域づくり団体の設立サポート ・ボランティアする人を増やす ・外国語の研修施設やボランティアガイドを増やす ・日本人と外国人の交流会を促進する
健康・福祉	健康・福祉	・高齢者が暮らしやすく安心して住めるまち ・老人や障害者など弱者が集い、語り合えるまち ・お年寄りや子どもにやさしく健康に暮らせるまち	・「老人想い」のくつろげる集会所、高齢者サロンの充実
安全安心	防災	・防災、防犯に強いまち（安全安心）	・災害に対する公民館での講座や地域での防災行事の実施
	安全・安心	・道が安全で、子どもがひとりでも歩けるまち ・安全・安心で、犯罪・事故が少ないまち	・危険な箇所を除く（イノシシ、猿と共存） ・用水路に落ちない工夫
環境	環境	・自然に癒される、自然の中で散歩ができるまち ・自然豊かで写真を撮りたくなるまち ・きれいなまち	・自然を大事にし、山・川などの手入れをかかさない ・ゴミをまちに捨てない、持ち帰り、きちんと分別する
分野横断	賑わい、活気	・刺激があり、人口が増えて賑わうまち ・お祭りが残っており、活気のある町（西大寺）	・西大寺の活性化 ・地域イベントや地域交流会を実施し、参加者を増やす ・学生がイベント企画に挑戦 ・コンサート会場の設置や多様なイベントの増加 ・イベントを継続及び活性化させ、地域連携の強化に繋げる
	つながり	・近所づきあいがしやすく、地域全体でつながるまち ・若者と高齢者が交流できる場があるまち ・1人1人が孤独にならない環境があるまち ・世代別の夢が実現できる仕組みがあるまち ・個を大切にきたコミュニティがあるまち	・区内各地区の連携を深める ・カフェや談笑スペースなど様々な人が交流できる場づくり ・隣近所の人の顔がわかる環境づくり ・困っていることを話せる機会をつくる ・その道のプロと対話できる会や行政のサポートを提供する
	シビックプライド	・お宝を誇り守れる、文化の香るまち ・東区のステイタスがある（文化、グルメ） ・「やさしさ」があるまち ・地域ごとの個性が集まった区 ・「声」が市政へ届くまちへ	・自分の子どもや孫が都会に出て自慢できるまちづくり
	住みやすさ	・戻ってきたくなるまち ・くらしを中心に暮らしやすいまち ・買い物に便利 ・笑顔あふれる明るく楽しいまち	・買い物ができる場所の充実 ・田舎にもコンビニ・スーパー、ドラッグストアの充実
都市経営・その他	都市経営	・住民自治の先進地域	・文化施設や公民館活動の充実 ・地域や制度の情報発信の強化、情報を受け取る場の整備 ・困ったことがあればすぐ相談できる環境を整備
	その他		・大河ドラマ化に向けた取組の実施

意見が多かった項目

グループ発表要旨

キャッチフレーズ	発表内容
<p>「シビックプライド東区 歴史と文化の誇りをいかした街・東区」</p>	<p>にぎわいのある街を目指し、商業施設の充実や若者が戻りたくなる環境を整備。高齢者や障害者が安心して暮らせるよう公共交通や道路を整備。地域共生を促し、住民同士や外国人とも支え合える街に。文化や歴史を大切にし、博物館や資料館を活性化。勉強や部活動の場を充実させ、自由に学べる環境を提供。雇用や企業誘致を進め、県外からも人が集まる魅力ある街を実現する。</p>
<p>「まちづくりを身だしなみへ」</p>	<p>誰もが気軽にまちづくりに関われる環境を整え、ワクワクする日常を創出。高齢者も移動しやすい交通インフラを整備し、公園や自然のある豊かな街を目指す。質の高い教育と子育て環境を充実させ、NPOや行政と連携した学びの場を提供。防災訓練や広報を強化し、安全で安心な暮らしを実現。町内会の連携を深め、交流を促進。市民が夢を実現できる街づくりを進め、市政に声が届く仕組みを整える。</p>
<p>「我らの故郷 東区 ～帰ってきたくなる街」</p>	<p>東区の豊かな自然や歴史・文化を発信し、誇れる街づくりを推進。地域学習を充実させ、自分たちの文化を自慢したくなる環境を整える。交通や産業を強化し、岡山を離れた人も戻りやすい街へ。暮らしやすさや子育て環境を充実させ、現住者にも快適な街づくりを進める。今住んでいる人が安心して暮らせ、外へ出た人も帰りたくなる街を目指す。</p>
<p>「子どもが生まれて育つ街 帰ってきたい町」</p>	<p>子どもが笑顔で成長し、活気あふれる街を目指す。公園やイベントを充実させ、ボランティア活動を通じて地域との関わりを深める。交通の利便性を向上させ、卒業後も岡山で活躍できる場を増やし、帰りたくなる街に。自然と共生し、買い物が便利で健康的に暮らせる環境を整備。高齢者も元気に暮らせる学びや支え合いの場を提供。外国人との交流を促し、多言語環境を整備。これらがつながり、活気ある街を実現する。</p>



<市民の意見>
中区

<テーマ①> 「岡山市 中区のお宝ってなに？」

- ・ これからも大切にしていきたいもの
- ・ とても満足しているもの
- ・ 中区の良いところ、特徴的なこと

<進め方>

①個人で意見を付箋に書き出す。(5分間)

※1枚の付箋には一つの意見・アイデアを簡潔に

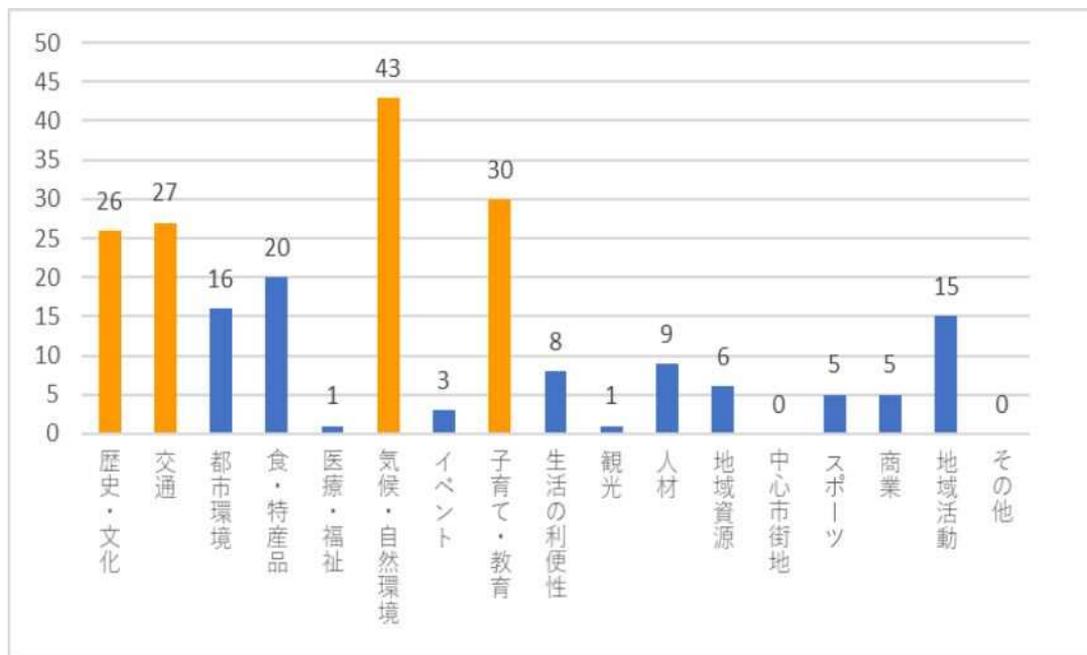
②記入した付箋紙を模造紙に貼りながら順番に発表、その後意見交換・新たな意見も追加、類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる(25分間)

③各グループの発表(10分間)

<結果>

○ワークショップを通じて、出てきたキーワードは総数で215件となりました。

○分野別キーワード数



【市民の意見】 ①岡山市 中区のお宝

分野別キーワードの要旨

中区のお宝

分類	要旨
歴史・文化	・歴史・伝統・建築物が豊富 (古代寺院跡、古墳群、寺社、点字ブロック、津田永忠)
交通	・交通の便が良い(電車、バス) ・中心部へのアクセスが良い
都市環境	・山・川の自然が多い(龍ノ口山、操山、旭川、百間川) ・公園が多い(龍のロググリーンシャワー公園、百間川緑地) ・落ち着いた住環境
食・特産品	・酒米雄町米、沢田柿
医療・福祉	・病院が多く便利
気候・自然環境	・自然豊か(アユモドキ・ホタル・桜並木、里山、旭川、百間川)
イベント	・さくらカーニバル(旭川さくらみち)
子育て・教育	・学校、学生が多い(小学校、中学校、高校、大学、自動車教習所) ・学校と地域が一体化した活動(大学との連携)
生活の利便性	・便利で生活に適したまち(生活に必要なお店と病院が多い)
観光	・インバウンド(曹源寺の座禅)
人材	・世話好きな人、地域見守り隊、あいさつをする人が多い、人があったかい
地域資源	・おまちアクアガーデン、雄町の冷泉、百間川せせらぎ広場、ケレップ水制
スポーツ	・百間川緑地(スポーツや散歩) ・操山トレッキング、龍ノ口山ハイキング
商業	・おしゃれな飲食店、カフェ
地域活動	・防災意識が高い(防災訓練、防災マップ作成) ・地域交流が盛ん(地域コミュニティ、清掃活動、公民館活動)
その他	

意見が多かった項目

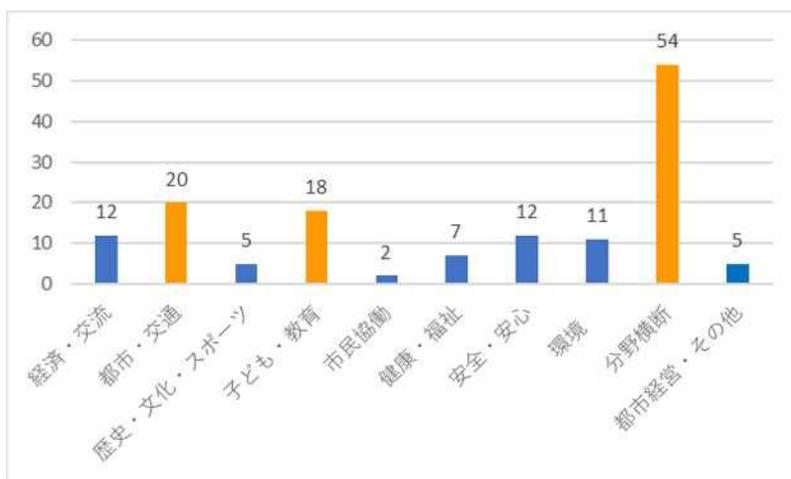
テーマ②「どんなまちで暮らしたいと想いますか？」 そのためには 「暮らしたいまちにするには どんなことが必要だと想いますか？」

<進め方>

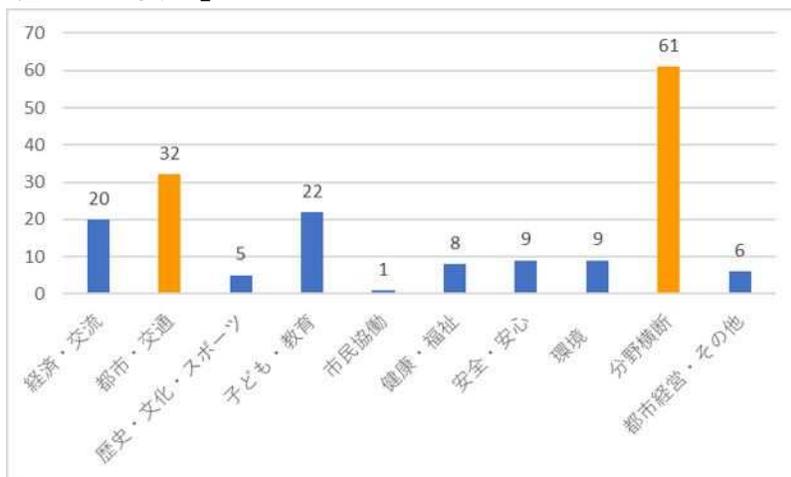
- ①「どんなまちで暮らしたいのか」を黄色の付箋に書き出し、
黄色の付箋に対して「どんな取り組みが必要か」を緑の付箋に書き出す。（10分間）
- ②黄色と緑の付箋紙をセットにして、模造紙に貼りながら一人ずつ発表。
→その後、意見交換・新たな意見も追加（20分間）
- ③類似の意見をグルーピングし、見出しをつけてまとめる
最後に中区をこんなまちにしたい！というキャッチフレーズを作成（20分間）
- ④各グループの発表（15分間）

<結果>

- ワークショップを通じて、出てきたキーワードは理想像総数で146件、必要な取り組み173件となりました。
- 分野別キーワード数
「どんなまちで暮らしたいのか」



「どんな取り組みが必要か」



【市民の意見】 どんなまちだったら暮らしたい？

暮らしたいまちにするために必要なことは？

分野別キーワードの要旨

中区の理想像、必要な取組

中分類	小分類	要旨	
		テーマ②-1 理想像	テーマ②-2 必要な取組
経済・交流	産業・雇用	・60代以上でも仕事ができる場があるまち	・働きやすい環境への企業補助制度
	中心市街地	・いろいろなお店があるまち	・大型商業施設 ・道の駅 ・複数の菓子製造業によるスイーツタウン ・不足している業態店調査の実施
	食・農業	・おいしい食べ物がいっぱいあるまち	・地産地消の促進 ・名物グルメ開発 ・雄町米などの特産品PR
	観光・交流	・移住しやすく、定住したいと思えるまち ・歩いて観光できるまち	・SNSやYoutubeなどで中区魅力発信 ・移住者への生活情報支援・相談制度
都市・交通	拠点形成・地域振興		
	交通	・回遊性のある交通網で公共交通が便利なまち ・渋滞が少なく、分かりやすく自由に移動できるまち ・ウォーカーフレンドリー	・岡山環状道路等の整備、250号の渋滞緩和、 南北移動のスムーズ化 ・使いやすいバス路線 ・自転車道・歩道の整備
	都市景観・住環境	・地域資源を大切に、環境が整ったまち ・高層の建物が少なく空が広いまち	・子どもが集い、大人も楽しめる公園整備 ・今ある建物の再利用 ・地域の交流が生まれる住宅エリア
歴史・文化、スポーツ	歴史・文化・芸術	・歴史文化を大切にする芸術文化のまち	・歴史伝統を知る機会の創出 ・若い世代への歴史伝統教育 ・点字ブロック発祥の地PR
	スポーツ		
子ども・教育	子ども・子育て	・子育て支援が手厚いまち ・相談場所があり、子育てしやすいまち ・子どもが安全安心に遊べるまち	・金銭的・物的子育て支援 ・子育てババママ交流の場づくり ・子ども見守り隊の増加
	女性・若者	・若者が進学・就職しても住み続けたいと思えるまち	・若者の町内会活動への参加
	教育	・大人と子どもと一緒に学べ、世代ごとの学びがあるまち	・地域と学校の連携強化
市民協働	協働、国際、人権	・学生と地域が協力できるまち	・定期的かつ継続的なボランティア活動
健康・福祉	健康・福祉	・病院・福祉施設が充実したまち ・高齢者も障害者も住みやすいまち ・孤立することがなく、元気な人が多いまち	・老後支援の充実 ・認知症カフェなど高齢者の集う場の設置 ・旭川荘や盲学校との地域交流
安全安心	防災	・災害に強いまち ・災害支援ができるまち	・防災イベントなど楽しく学べる場づくり ・定期的な訓練・備蓄倉庫の設置 ・防災ボランティアの育成
	安全・安心	・犯罪がなく、安全安心に暮らせるまち	
環境	環境	・自然が豊かで、人と動植物が共生するまち ・緑が多く空気がきれいなまち ・ゴミのないきれいなまち	・自然体験を学校行事で実施 ・資源を生かしたまちづくり ・ゴミ拾いボランティアの実施
分野横断	賑わい、活気	・祭りやイベントが多く、積極的に活動する人の多いまち ・子どもも高齢者も障害者も楽しめるイベント	・地域交流イベントを増やす ・イベントを地域の人々や学生など地域全体で企画 ・地域の祭りの復活
	つながり	・困ったときに助け合える、相談できる、孤立しないまち ・様々な年代が集まり、会話やふれあいが多いまち ・住民同士が挨拶を交わし、協力し合い、活気があるまち	・多世代交流の場の設置 ・お互いにあいさつし、見守るまち ・40～50代も入りやすい町内会で活性化を ・地域活動への補助金
	シビックプライド	・住んでいる人たちが生き生きと暮らし、 ずっと住みたいと思う他地域に誇れるまち	・まちについて知る機会があり、 シビックプライドが醸成される取組
	住みやすさ	・親しみやすくアットホームなまち ・趣味を謳歌できる楽しいまち	・中区限定の買い物がお得なバスポート制度
都市経営・その他	都市経営	・住民自治が進み、注目される取組のあるまち	・公民館施策の振興 ・社会教育士への積極的な支援 ・役所と学区の交流の場づくり
	その他	・人口が増加するまち	

意見が多かった項目

グループ発表要旨

キャッチフレーズ	発表内容
「みんなが元気で笑顔いっぱい のまち～人とのつながりがあるから」	アットホームで住み続けたいまち。人と人が笑顔であいさつし、意見が伝えやすく協力し合える温かい地域。ももちりの活用や自転車道整備で交通の利便性を向上。子ども食堂や地域実習で教育を充実させ、ボランティア活動でまちを美しく。災害対策も万全にし、安心して暮らせる環境を整える。子育てしやすく、みんなが集まれる場を作り、「中区が好き」と思えるまちを目指す。
「わいわい・ゆうゆう ・ええじゃろ～」	未来を見据えた魅力あるまちづくり。道路整備を進め、自動運転や自動車専用道を視野に入れつつ、歩行者や自転車にも優しい環境を整備。子育てしやすく、若者も楽しめる施設を活用し、経済格差のない町を目指す。高齢者の孤立を防ぎ、働きがい生きがいに。大人と子どもが共に学び、地域のつながりを深める場を創出。社会教育士の活動を支え、地域と学校が連携する交流空間を推進する。
「『絆』 アットホームなまちづくり！」	ふれあいと共生のある魅力的なまち。習い事やイベントの充実で暮らしを豊かにし、補助金制度を活用。世代を超えた交流を深め、「ただいま・おかえり」があふれる町に。大きな祭りの開催で地域の絆を強める。防災を学べる機会を増やし、安全なまちづくりを推進。ゴミ拾いのボランティアや不足する店の調査を行い、魅力ある町を実現。アクセスの良い交流の場を確保し、誰もが夢を叶えられる町を目指す。
「空が広い、心が広い」	自然と歴史を大切にし、誰もが安心して暮らせるまち。豊かな自然や歴史建造物を守り、再開発ではなく既存の資源を生かすまちづくりを推進。外国人にも開かれた交流の場を作り、芸術やファッション文化を大切に。高層建築を抑え、自然を感じられる環境を維持。子育て支援を充実させ、小学生が安心して遊べる場所を整備。公共交通を活かしながら歩行者や自転車の安全も確保。防災力を高め、災害に強い町を目指す。
「4世代交流～人とのつながり」	助け合いとつながりを育むまち。町内会に入りたがらない人が増え、コミュニティの弱体化が懸念される。孤立を防ぎ、困ったときに助け合える街を目指し、楽しいイベントを通じて町内会への参加を促進。中区の最大の資源は人であり、交流を活発にすることが重要。交通面では、朝の渋滞解消や歩行者のための道の整備が課題。昔ながらの狭い道路の改善も進め、暮らしやすいまちづくりを目指す。